



クール・ネット東京

中小規模事業所向け

第10回 省エネセミナー 開催のお知らせ

『IoT』で業務改善、省エネ ～データを活用して新たな価値創造～

無料

日時:平成29年11月22日(水)13:00～16:30

会場:科学技術館サイエンスホール (千代田区北の丸公園2-1)

地球温暖化対策において、業務・産業部門のエネルギー消費量の削減は重要な課題であり、着実な推進が求められています。

今年で10回目となる本セミナーでは、「『IoT』で業務改善、省エネ ～データを活用して新たな価値創造～」と題し、業務改善、品質・サービスの維持、経営スピードの向上、さらに省エネにつながる『IoT』を始めとした新たな技術の活用事例をご紹介します。

基調講演では、東京大学 大学院 教授 江崎氏をお迎えし、事例発表ではテナントオフィスにおけるデータ活用、気象データを活用した需要予測など、新たな視点で省エネを考えるきっかけにしたいと考えています。ぜひご参加いただき、今後の取組にお役立てください。

プログラム

第1部 基調講演

－「Smart City with Internet-by-Design」－
東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 江崎 浩 氏



東京大学 大学院 教授
江崎 浩 氏

第2部 事例発表

－「BEMSネットワーク通信を活用した省エネサービス事例」－
アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー
ファシリティマネジメント本部 エネルギーマネジメント部長
関根 勉 氏

－「気象データを活用した需要予測情報の共有化による省エネ物流への取組」－
一般財団法人 日本気象協会 事業本部 防災ソリューション事業部
プロジェクトマネージャー 本間 基寛 氏

－「IoTを活用した“働く場”の改善事例」－
株式会社 内田洋行 営業本部 営業統括グループ
スマートビル事業推進部 部長 山本 哲之 氏

第3部 補助金等の情報提供

公益財団法人 東京都中小企業振興公社
企画管理部 設備支援課 課長 保坂 和彦 氏

申込方法

参加を希望される方は、以下の要領でお申し込みください。

- 募集人数：410名 (申込先着順 参加費無料)
- 申込方法：東京都地球温暖化防止活動推進センターのホームページから申込
- 申込はこちら⇒<https://www.tokyo-co2down.jp/company/seminar/check/index.html>
- 入場方法：申込後、電子メールで送付する受付票を印刷のうえ当日会場へご持参ください。



クール・ネット東京

公益財団法人 東京都環境公社
東京都地球温暖化防止活動推進センター (クール・ネット東京)
〒163-0810 新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル10階
TEL:03-5990-5064 E-mail: tccca@tokyokankyo.jp

【主催】 東京都地球温暖化防止活動推進センター・東京商工会議所

基調講演

江崎 浩 氏 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授

1987年 九州大学 工学部電子工学科 修士課程了。

同年4月(株)東芝 入社。1990年より2年間 米国ニュージャージー州 ベルコア社、1994年より2年間 米国ニューヨーク市 コロンビア大学にて客員研究員。1994年ラベルスイッチ技術のもととなるセルスイッチルータ技術をIETFに提案し、その後、セルスイッチルータの研究・開発・マーケティングに従事。1998年10月より東京大学 大型計算機センター助教授、2001年4月より東京大学 情報理工学系研究科 助教授。2005年4月より現職(東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授)

WIDEプロジェクト代表。MPLS-JAPAN代表、IPv6普及・高度化推進協議会専務理事、JPNIC(日本ネットワークインフォメーションセンター)副理事長、ISOC(Internet Society)理事(Board of Trustee)、東大グリーンICTプロジェクト代表、日本データセンター協会 理事/運営委員会委員長。工学博士(東京大学)。

著書:「インターネット・バイ・デザイン」東京大学出版会(2016年6月)

「なぜ東大は30%の節電に成功したのか？」幻冬舎(2012年3月)



事例発表

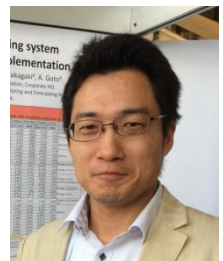
関根 勉 氏 アズビル株式会社

ビル付帯設備作動やエネルギー情報を管理するシステム(BEMS)のメーカーであるアズビル株式会社において、システムに集まるBEMSデータを有効活用した「エネルギーマネジメント」を推進している。データ通信やクラウド技術の向上により、各ビルに導入されたBEMSをデータセンターに接続しエネルギーマネジメントを行うなど、そのデータの活用方法についても多様化してきている。このようなネットワーク通信を用いた省エネ事例について紹介する。



本間 基寛 氏 一般財団法人 日本気象協会

一般財団法人日本気象協会は、1950年に財団法人として設立して以来、業界のリーディングカンパニーとして気象・防災・環境に関する情報コンサルタント企業として活動。近年の情報通信技術に対応した、独自の総合気象数値予測システム「SYNFOS」やオンライン総合気象情報サービス「MICOS」を基盤として、気象情報を活用した事業を展開している。気象予測を活用した商品の需要予測情報を各社で共有することで、売れ残りや作りすぎなどの「食品ロス」の削減や売り切れなど販売のチャンスを逃す「機会ロス」の削減、返品・返送や配送に係る二酸化炭素の排出量削減に繋がった事例を紹介する。商品需要予測事業のマネージャーとして、事業の統括を行っている。



山本 哲之 氏 株式会社 内田洋行

IoTという革新的テクノロジーにより、安全安心、快適性、利便性、省エネの向上を飛躍的に実現できる状況にある。本セミナーではIoTを身近に感じていただきながら、生産性向上に寄与する“働く場づくり”の事例を紹介する。

1985年内田洋行入社。2014年にスマートビル事業推進部を立ち上げ、“つなぎ屋”としてのユニークなポジションを展開中。愛媛県松山市出身。



補助金等の情報提供

保坂 和彦 氏 公益財団法人 東京都中小企業振興公社

革新的事業展開設備投資支援事業 他支援事業について紹介。